

安全データシート



保土谷UPL株式会社

グリーンアーゾラン液剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2024/04/01 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : グリーンアーゾラン液剤

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬

会社情報

保土谷UPL株式会社

105-0021

東京都港区東新橋一丁目9番2号

T 03-6852-0505 - F 03-6274-5835

hodogayaupl@hodogaya-upl.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 03-6852-0500
営業部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
	皮膚感作性	区分に該当しない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3

ラベル要素

危険有害性 (GHS JP) : 水生生物に有害 (H402)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 環境への放出を避けること。 (P273)

廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
アジュラム	37	-	-	2302-17-2
水及び展着剤等	63	-	-	-

安全データシート

グリーンアーゼラン液剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置	: 漏出エリアを換気する。
------	---------------

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。
-----	--

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 漏出物を回収すること。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし

安全データシート

グリーンアージラン液剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
保管	
安全な保管条件	: 換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。
安全な容器包装材料	: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。
保護具	
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。
---------------	-----------------

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 黄褐色
臭い	: データなし
pH	: 7.6 (5倍希釈液)
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1.17 - 2.23 g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

安全データシート

グリーンアージラン液剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7節参照）。
混触危険物質	: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

グリーンアージラン液剤	
LD50 経口 ラット	> 10000 mg/kg (♂♀)
LD50 経皮 ラット	> 2500 mg/kg (♂♀)

皮膚腐食性/刺激性 : ウサギ皮膚刺激性なし

グリーンアージラン液剤	
pH	7.6 (5倍希釈液)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ウサギ眼刺激性なし

グリーンアージラン液剤	
pH	7.6 (5倍希釈液)

呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: 感作性なし モルモット
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない 区分に該当しない、
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 水生生物に有害。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に有害
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 分類できない

安全データシート

グリーンアージラン液剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

グリーンアージラン液剤	
LC50 - 魚 [1]	> 1000 mg/l (コイ 96 時間)
EC50 - 甲殻類 [1]	370 mg/l (オジシロ 48 時間)
ErC50 藻類	73 mg/l (藻類成長阻害 0-72 時間)

残留性・分解性

グリーンアージラン液剤	
残留性・分解性	データなし。

生体蓄積性

グリーンアージラン液剤	
生体蓄積性	データなし。

土壌中の移動性

グリーンアージラン液剤	
土壌中の移動性	データなし
生態系 - 土壌	データなし。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

UN RTDG / IMDG / IATAに準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG) : 非該当
正式品名 (IMDG) : 非該当
容器等級(IMDG) : 非該当
輸送危険物分類 (IMDG) : 非該当

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA) : 非該当

安全データシート

グリーンアージラン液剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

正式品名 (IATA) : 非該当
容器等級 (IATA) : 非該当
輸送危険物分類 (IATA) : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

農薬取締法 : 該当

16. その他の情報

連絡先 : 中毒の緊急問い合わせ先 :
財団法人 日本中毒情報センター 中毒 110 番
医療機関専用有料電話 (一件につき 2,000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応) 072-726-9923
つくば (365 日、24 時間対応) 029-851-9999
一般市民専用電話 (通話料のみ相談者負担)
大阪 (365 日、24 時間対応) 072-727-2499
つくば (365 日、24 時間対応) 029-852-9999

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。